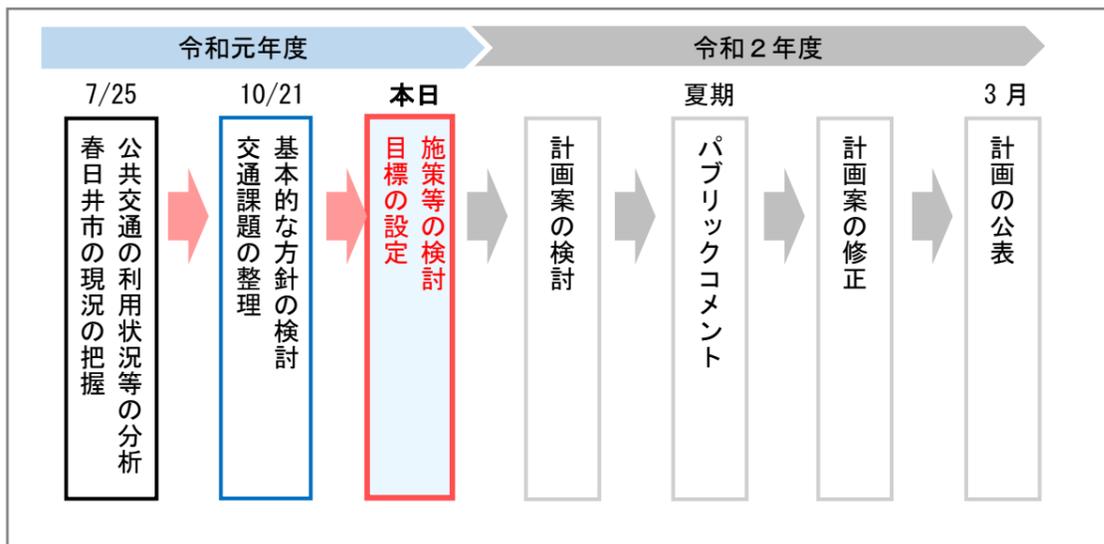


これまでのおさらい

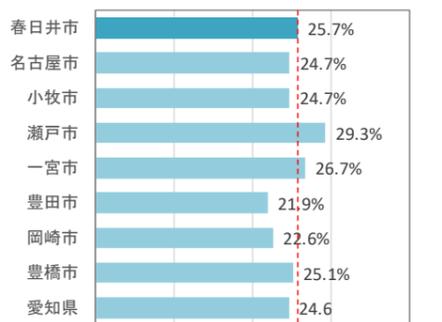
●スケジュール



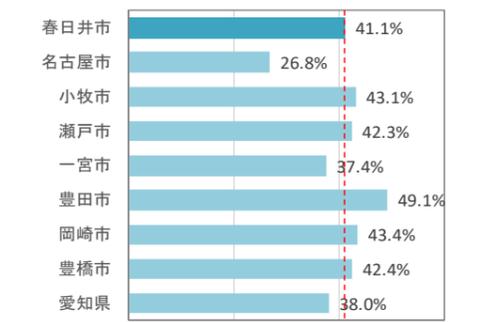
●前回会議でいただいた意見の整理

- 春日井市の高齢化の状況について整理が必要。
 →本市の高齢化率は、近隣市や人口が40万人程度の都市と比較すると概ね同等。
- 75歳以上の高齢者の運転免許証の保有率について他都市と比べた方がよい。
 →75歳以上の保有率は、名古屋市や豊田市を除いて概ね同等。
- 「新たな交通手段を含めて再検討が必要」とあるが具体的な意見はあったか。
 →デマンド交通やLRT、自動運転実証実験の拡大、EVカーシェアの提案があった。
- タクシーや福祉輸送サービス等の多様な交通との連携が必要。
 →市内では、以下の福祉事業を実施。
 福祉応援券 障がい者や難病の方の生活支援等を目的として支給されるもの。タクシーやリフト付きタクシーの料金にも利用可能。
 福祉有償運送 他人の介助によらず移動することが困難でかつ、単独で公共交通を利用することが困難な身体障がい者等の会員を対象とした、NPO等が実施する輸送サービス。
 介護タクシー 介護保険の適用を受けている要介護者等の高齢者や体の不自由な方向けの輸送サービス。

■県・近隣市等の65歳以上の高齢化率



■県・近隣市の75歳以上の運転免許証保有率



※資料：平成30年度刊愛知県統計年鑑（H29.10時点の値）
 ※資料：【運転免許保有者】愛知県警察統計（H30年12月末現在）
 【人口】愛知県人口動向調査結果（H31年1月1日現在）

施策案

公共交通の基本的な方針

- 多様な需要やニーズに対応するための体系的な公共交通網の形成
 ・利便性の高い鉄道網と路線バスを活かして、市内の各拠点や周辺都市を円滑に行き来できる交通体系を維持します。
 ・路線バスを軸とした拠点間の利便性を維持し、路線バスを地域の特性に合った公共交通により補完します。
- 誰もが公共交通で出かけたくなる交通環境づくり
 ・安全で快適に公共交通を乗り降りし、乗り換えることができる交通結節点の利便性を確保します。
- 関係者が連携して公共交通を支える環境づくり
 ・市民や本市で働く人、交通事業者や地元企業等の多様な主体が、本市のより良い公共交通のために活動します。

課題	目標	手法	施策例
<広域移動> 名古屋市等の周辺都市との通勤・通学等の利便性の維持	駅やバス停周辺への居住等の誘導	立地適正化計画との連携 バス路線の維持 利用機会の創出	(国・県・市が行うもの) 都市機能の誘導 バスの路線・便数の維持の支援 タクシー事業者等との連携強化 交通結節機能の強化 市民ニーズや路線バスとの重複に配慮したシティバスの見直し 地域の特性に応じた移動手段の検討 地域主体の公共交通検討の支援 新たな技術を用いた実証実験の実施 MaaSの導入 外出機会の創出 利用促進のための周知活動 運転手確保のための周知活動
<市内移動> 高齢者等の市民の移動手段の確保	鉄道とバスが一体となった利便性の高い公共交通の維持	円滑で安全な乗り換え環境の確保 駅やバス停への安全な移動環境の確保 市民病院や市役所、鉄道駅への移動の利便性の向上 効率的な交通網の形成 新たな移動手段の導入	(交通事業者が行うもの) バスの路線・便数の維持 国・県・市等との連携強化 交通結節機能の強化 地域の特性に応じた移動手段の検討 新たな技術を用いた実証実験の実施 MaaSの導入 外出機会の創出 利用促進のための周知活動 運転手確保のための活動
運転手不足への対応	多様な交通の組み合わせによる市民の移動手段の確保	運行環境の改善 運転手の確保	(市民、地元企業や大学等が行うもの) 外出機会の創出 公共交通の利用 国・県・市、交通事業者等との連携強化

連携

福祉・健康、環境等の分野